

令和2年6月10日

団委員長 各位

日本ボーイスカウト長野県連盟  
理 事 長 出田 行徳  
コミッショナー 小岩井由道  
(公印省略)

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに基づく  
スカウト活動の実施についての長野県連盟方針（1）

新型コロナウイルス感染及び感染拡大防止のための国の緊急事態宣言が解除されました。しかし、全ての活動が元通りに戻るわけではありません。感染リスクの高い空間を避け、日常生活においてもまだまだ十分留意する必要があります。日本連盟において「新しい日常に向けて（今後の取組み）」（第9報）として見直しがなされました。また長野県としても対策の発表があり、その要請にも応えることとし、ボーイスカウト長野県連盟として方針を策定いたしましたのでご案内申し上げます。県連の各地区は各自治体、地域とも連携した対応をお願い申し上げます。

記

1. 感染症に対する考え方

- ① 感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減させながら活動を行う。
- ② 『3つの密』を避ける「新しい生活様式」に対応する。
- ③ スカウト・指導者の家庭と連携する。
- ④ 感染者や濃厚接触者への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などを防止する。

2. 活動の基準

- ① 「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の内容を確認する。その中で長野県連盟においては「感染観察Ⅰ」を適用します。（日連 HP2020.5.24ver01）
- ② スカウト、指導者などの生活圏における感染症のまん延状況により判断すること。
- ③ この判断を行う上で、各地域の感染状況は、自治体等の発信を随時確認するとともに、地域の「学校」での対応を判断の参考としてください。スカウト活動を行う上での大きな目安となると思われます。地域の状況により、同一県内においても市町村によって異なりますので、スカウトの保護者とのコミュニケーションにより情報を得てください。

### 3. 「新しい生活様式」の徹底による活動

- ① 野外（屋外）において、感染につながる可能性が高い「3つの密」をすべて避ける。
- ② 感染リスクが高い活動として、**キャンプなどの宿泊を伴う活動（野営・舎営）**については、野外活動であっても参加者相互が長時間にわたり接触することになりますので、**夏季までは行なわないでください。**（8月末を目安とします）状況で延長する可能性があります。
- ③ 各団（隊）からは、スカウトの保護者へ、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのスカウト活動における対応を説明頂くとともに、各ご家庭での普段の生活の重要性もご理解頂くなど連携をして下さい。  
特に**隊集会実施計画書には安全対策と共に新型コロナウイルス防止対策案を盛り込んで保護者の信頼（安心）を得ることをして下さい。**
- ④ **活動エリアについては地区内に限定して下さい。**
- ⑤ 学校でも「**3つの感染症**」とした注意喚起など指導されています。  
これについては、以下の URL に詳しい情報がありますのでご参照ください。

「3つの感染症」日本赤十字社

[http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326\\_006124.html](http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html)

### 4. スカウト活動について

#### ① 計画は

- ・現状の情報確認：感染状況、自粛要請、学校の授業や大会計画など。
- ・宿泊はしない。
- ・活動場所の選定は地区内とする。
- ・活動内容は時間に余裕を持たせる事。

#### ② 準備は

- ・参加者名簿の作成（スカウト、指導者、保護者、兄弟など）
- ・当日の参加者全員の健康状態のチェック（検温と記録）をする。
- ・活動内容によりアルコール消毒液、マスク、ゴム手袋などを用意する。
- ・開催前に常に健康観察に努めるように注意喚起をする。
- ・移動手段でマイカーを利用する場合、家族以外の乗り合わせは控える。
- ・公共交通機関を利用する場合は3密を避ける。
- ・家庭の事情（IT環境、家族内方針など）を考慮し会議、集会、活動への参加については状況に応じ、柔軟に判断する事。

### ③ 活動は

- ・ソングは歌わない。バックグラウンドとしてCDを多用し、雰囲気作りをすることも良いでしょう。
- ・室内活動は広い空間で常に換気を行う。
- ・戸外では2メートル以上の余裕のある距離をとり、縦1列で並ぶときは真後ろを避け、より距離をとる。
- ・活動中のマスク着用は夏場にかけて熱中症の原因や酸欠にもなる為、対策はしっかり取る。場合によっては、中止またはプログラムの変更も視野に入れて活動する。
- ・スカウトたちは**群になりたがり**ますがそれに対する防止策を配慮する。

### ④ 活動後は

- ・マスク、ゴム手袋などを廃棄する場合はポリ袋に入れ密封し、焼却あるいは持ち帰る。
- ・欠席したスカウトのフォローをする事。
- ・参加者の健康状態を確認あるいは報告を受ける。
  - \*異常が発覚した場合はなるべく医療機関に連絡を取り対策をする。
- ・評価反省をし、団委員長へ報告する。
- ・次回に向けて評価を生かす事が安全につながる。

\*以上列記いたしましたが、より具体的な内容・判断は団委員長及び地区コミッショナーに一任します。